

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 氏名      | 園 部 武                              |
| 学位の種類   | 医 学 博 士                            |
| 学位授与番号  | 乙 第 4 0 6 号                        |
| 学位授与の日付 | 昭和44年12月31日                        |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者<br>(学位規則第5条第2項該当)       |
| 学位論文題目  | 体外組織培養法による人胸水の細胞学的研究               |
| 論文審査委員  | 教授 大 藤 真    教授 妹尾左知丸    教授 佐 藤 二 郎 |

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

従来より胸水の研究は種々行われて来たが、何れも物理化学的検索や塗抹染色による分類であり細胞構成上の特徴、特に構成細胞の細胞学的特性に吟味の至っては殆んど顧みられなかった。そこで瀕死或は死後の状態に至らないで、生来存在する環境と略々同一の状態を観察が行われたならば正確な細胞構成上の特性が得られる事を予想し、第1編では人非病的胸水細胞を組織培養法を応用した生態観察で細胞学的検索を行い、細胞構成上、正常人腹水及び正常諸動物胸、腹水のそれと略々同一で、主要細胞は食細胞で、しかも小型食細胞が一番多い比率を占める事を確認し、第2編では、日常屢々遭遇する病的胸水に就いて臨床鑑別診断の決め手となる細胞学的検索を行い、腫瘍性胸水では腫瘍細胞、腫瘍性印環細胞の出現、漿膜細胞の軽度増加、好中球の中等度増加、食細胞性印環細胞の出現を、結核性胸水では小型食細胞並に淋巴球の増加を、ネフローゼ性胸水では小型食細胞、漿膜細胞の増加を確認した。

(第1編、第2編とも昭和44年8月30日発行 岡山医学会誌第81巻7, 8号に掲載された。)

## 論文審査の結果の要旨

第一編では人非病的胸水細胞を組織培養法を応用した生態観察で細胞学的検索を行い、細胞構成上、主要細胞は食細胞で、しかも小型食細胞が一番多い比率を占めることを認め、第二編では腫瘍性胸水、結核性胸水、ネフローゼ胸水について詳細なる細胞構成及び構成細胞の細胞学的特異性を組織培養による生態観察で明らかにした。本研究は日常鑑別診断に苦しむことの多い種々の胸水疾患の正確な鑑別に寄与する処が大きく、学位論文としての価値あるものと認めた。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。